

表紙の人

もりもと たつろう
森本 達郎 氏



【プロフィール】

1993 年生まれ
森庄銘木産業株式会社
取締役専務／森林デザイナー

立命館大学卒業後、木材大手
商社に入社。輸入材の流通も
学び、3 年後に家業に戻り、
現職に就く。

「森と暮らしを繋ぐ」をテ
ーマに、森の恵みを届ける仕
事をしています。私生活では
2 児の父で、木育ても子育
ても励んでいます。」(談)



森庄銘木産業(株)

MORITO OnlineShop



We are MORITO
concept: 森と暮らしを繋ぐ
Live with nature

「表紙の人」奈良の木シリーズ2 回目は、奈良県宇陀市で4 代目を継が
れた若き林業家の森本様にお話を伺いました。

■貴社の事業内容をおしえてください。

社有林約 50ha と委託された森林約 300ha を管理し、年間約 3000 m³を伐採
しています。林業を中心に、森林設計、製材、インテリアの製造販売などを
展開しています。

■事業を継がれた時にどのような課題を感じましたか？

深刻な経営状況でした。主軸の磨き丸太は、和室や木造建築が減る中で予
想以上に悪化していたんです。皆伐も考えましたが、長いスパンで考えて、
地域の環境を守り暮らしと命を守る「森づくりを行う林業」の大切さに気付
きました。森を育てながら木を使い、私たちの先祖は生きてきました。この
循環が途絶えると、土砂崩れや洪水、温暖化など不具合が出てしまいます。

■新しい取り組みもされていますね？

商社時代の経験から、木材業界は情報も流通
も一方通行であると感じていました。そこで、
ユーザーからのニーズに合わせ安心安全な木材
をまとめてお届けするサービスを始めました。

林業で消費者と直接つながる企業を目指し、
ホームページを自力で立ち上げました。また、
新ブランド「MORITO」として、自社の木材や技
術を使った家具やインテリア雑貨・建材まで販
売し、一般の人に木のぬくもりを感じてもら
う仕組みも整えました。

■今後の計画・抱負をお聞かせください。

木材に関する付加価値をできるだけ高め、林
業の「6 次産業化」を目指しています。そのた
め、情報発信にも力を入れています。ツイッ
ター、Instagram、動画配信などを活用し
て、消費者が目にするのが少ない林業の仕事
や森に関する情報を掲載しています。「森のツ
アー」や研修などを企画し、持続可能な森づく
りへの意識を高める社会問題解決事業も進めて
います。特に若い世代に林業はカッコいいと思
ってもらい、求人にもつなげていきたいと思っ
ています。

■ありがとうございました。

【記：情報・広報委員会 伊藤吉郎】



第 64 回建築士会全国大会 あきた大会レポート

2022 年 10 月 14 日(金)秋田芸術劇場「ミルハス」をメイン会場とし、全国から参加者約 3,000 名(内奈良県建築士会 33 名)により開催されました。前日(13 日)には、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会が開催。大会当日は、5会場ーミルハス、秋田市文化創造館、にぎわい交流館AU、アトリオン、秋田キャッスルホテルに分かれ、感染症対策に十分配慮され開催されました。その後、「ミルハス」では記念対談と大会式典が開催され、記念対談では、秋田杉と傘型屋根のブックコロセウムで知られる国際教養大学理事長モンテカセム氏とミルハスを設計された仙田満氏により行われ、記念式典内では、奈良県建築士会より2名(峠政和氏と上平久居氏)が連合会会長表彰を受賞されました。以上詳しくは、後日、「建築士」に報告されますので、今回のレポートは、会場の雰囲気と下記参加者の方々と共に、特に印象に残った各セッションでの活動や秋田県の魅力ある建造物などを報告させていただきます。

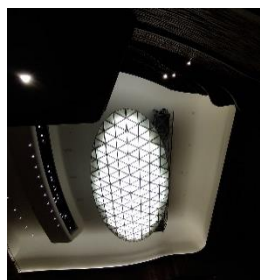
【記：中尾 七隆】

【記念対談と大会風景】



写)ミルハス会場内の様子

「ミルハス」は、蓮でいっぱいの千秋公園のお堀の横に建っています。大ホールの壁は赤茶色の秋田杉の木レンガでできていて滑らかな曲線は、まるで「曲げわっぱ」の中にいるようです。組子でできた飛行船のような天井照明器具など、そこかしこの秋田らしいデザインと 2000 席のボリュームは圧巻でした。



記念講演では、仙田先生が設計された図書館の閲覧空間のコンセプトや建物とまちとの関係性についてお聞きしました。また「シビックプライド」のお話から、奈良にも秋田に負けないくらいたくさんの歴史的な文化や資産があるのだから、私たちも自分の住む地域の歴史や文化を見つめ直し、誇りを持って建築士としての活動をしなければと感じました。

【記：庄田 尚代】

【奈良県建築士会参加者の皆さま】



写) 前列中央左：峠さん、中央右：上平さん
長年、士会活動にご尽力いただき、連合会表彰を受賞され、誠にありがとうございます。

【女性セッション】

女性委員会セッションは、「和の空間の魅力を探るふあいなる～これから～」をテーマに、2016 年から取り組んできた『魅力ある和の空間ガイドブック WEB 版』の最終版から 4 県のパネリストによる建物の紹介と、今後の活動に繋げていくためのガイドブック活用の仕方について、パネルディスカッションが行なわれました。各県とも、様々な活動に派生させて活用されており、これが「ふあいなる」ではなく、ブロック単位で今後とも継続していきたいと話されました。



【記：山本 規子】

【ヘリテージマネージャーネットワーク協議会】

全国大会の前日（13日）に、第10回全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会が「にぎわい交流館AU」で開催されました。

先だって「まち歩き」があり、「秋田市立赤れんが郷土館（旧秋田銀行）」と、「秋田市民俗芸能伝承館（ねぶ流し館）」・「旧金子家住宅」を見学しました。旧秋田銀行はルネサンス様式の外観で、軟弱地盤対策として基礎工事（主に耐震）に工期、総工費のそれぞれ半分程度が注ぎ込まれたとされています。



（旧秋田銀行外観）

旧金子家住宅は商家兼住宅で、明治の大火で残った土蔵、棟に乗せた天水甕が秋田の民家の特徴です。



（旧金子家住宅外観）

ねぶ流し館では、郷土の民俗行事や芸能の保存伝承の場として竿燈、梵天、土崎神明社祭の曳山行事を紹介しており、竿燈の実演がありました。



（竿燈の実演）

総会は128名が出席、全国7ブロックの代表が各ブロックのヘリテージマネージャー（HM）の養成状況や活動を報告、それぞれの課題や活動状況を共有しました。

また、災害時における歴史的建造物の調査協力



（各ブロック代表の報告）

については直近の能登半島を震源とする地震の発生に伴う実体験を報告、災害時にはHMがスムーズに災害調査活動ができる連絡体制の整備が今後の課題です。事前に調査したアンケート結果報告及び「国登録有形文化財全国所有者の会」（現在、参加は9府県）の紹介がありました。当県も所有者の会を立上げて参加する必要があると感じました。 【記：紀本 澄男】

【歴史まちづくりセッション／

第9回全国ヘリテージマネージャー大会】

歴史まちづくりセッション/第9回全国ヘリテージマネージャー大会がアトリオン4階音楽ホールで、開催されました。

事例発表は秋田県内から4件あり、小坂町史編さん室の亀沢修氏が『歴史的建造物を活用した「明治百年通り」の整備と産業博物タウン



（大会の開式）

構想』を発表、「活用なくして保存なし」を合い言葉に活動されています。大館・北秋田建築士会の安達真由美氏から、「大館市の歴史まちづくり～官民協働で物語をつくる」を発表、シビック・プライドの醸成が大切、官民協働した歴史まちづくり計画を展開されています。秋田中央建築士会田畑治夫氏の「新屋地区の歴史的建造物と景観まちづくり」では、景観・町家保存と、秋田公立美術大学を含めた取り組みを発表され



（発表者）

ました。増田まちなみ研究会鈴木博実氏から、「横手市とヘリテージマネージャーの関わり方」を発表、伝建

地区での修理修景等、住民・行政・保存会・研究会（建築士）でまちづくり推進体制をつくられています。

本セッションでは、様々な取組みを視聴でき、これからの活動に役立てたいと思いました。

【記：紀本 澄男】

小坂町の保存活用事例



写) 小坂町の明治百年通り

- 1 段目写真；康楽館（現役の芝居劇場・重文）
- 2 段目写真；旧小坂鉱山事務所（解体修復・重文）
- 3 段目右写真；同上事務所内の廻り階段（秋田杉）
- 3 段目左写真；旧小坂駅（ソフトごと保存利活用）

【景観・街中（空き家）まちづくりセッション】

「街中の再生まちづくりと景観」をテーマに、全国で直面している、歴史的・文化的施設の保存・運営について、3つの事例報告とパネルディスカッションが行われました。

1つは、埼玉県建築士会の中野万紀子さんが「深谷市内の区画整理区域内にある「旧七ツ梅酒造」の工場跡の活用の取り組み」を、2つ目は熊本県建築士会の豊永信博さんが、震災後も積極的に取り組まれている「熊本城下町エリアにおける多くの団体による街中再生」を、もう一つは秋田公立美術大学の菅原香織さんの「秋田駅西口駅前のバスターミナルの修景プロジ

ェクト」の事例でした。

これらの報告から、建築士会員のみの活動ではなく他の団体との連携が活動を活発化できることがわかりました。そして団体の組織や法人有無などにより取り組める内容も異なっていることが指摘されました。また、このセッションが歴史的建築物に特化しすぎているという苦言もあり、次回に向け検討することになりました。

【記：米村 博昭】

【木のまちづくりセッション】



連合会のまちづくり委員会の中で、2020年に6番目の部会として位置づけされた「木のまちづくり部会」も、他の部会と同様に47都道府県において、「地域リーダー」という担当部員が据えられています。その熱心な部会員と地域産材に対して近くに身を置く建築士会の会員が多数参加されました。「ウッドショック」に焦点を当てた発表による情報は、川下に身を置く人間にとっては、実情と認識がかけ離れ、安心感と危機感が錯綜する現状を知ることが出来ました。会場からの提言には、各都道府県の関係部署と協同する手引きの仕方や、国土交通省へ直接的に働きかける内容が紹介され、私たち建築士の個々の能力を出し合いながら、職能団体として先導をしていくことの必要性を確認しました。いつもながら、これらのセッションに足を運んで参加をする価値を感じます。

【記：伏見 康司】

【その他 作品紹介】 一般流通材による木造アーチ



木の建築大賞：道の駅ふたつ（能代市）

表彰（推薦）規程の改正及び懲戒規程の制定について

奈良県建築士会では、以前より検討されてきました表彰（推薦）規程の改正及び懲戒規程の制定について、先日理事会において承認され、この度、令和4年10月1日付けで制定しました。会員の皆様にその内容について、ご説明させていただきます。

□表彰（推薦）規程の改正について

これまでは、奈良県建築士会の会員等に対する表彰（推薦）は、その要項に基づき行われていました。今回の改正は、現在では活用されていない表彰制度を整理（削除）するとともに、今後、当会や会員の皆様にとって、意義があると考えられる項目を新設されました。新たに追加した項目は、3点です。

1点目は、「CPD制度の活用に関する表彰」項目です。CPD取得単位数が顕著な会員やCPD参加者登録数が顕著な事業所等を表彰することとし、CPD制度の利用を促進し、建築士としての能力を高めていただきたいと考えています。

2点目は、「新規会員の獲得に関する表彰」項目です。当会の会員数減少は非常に深刻な課題と捉えています。そのため、新規会員の獲得に貢献された会員や事業所を表彰させていただきたいと考えています。

3点目は、「当会の社会貢献活動の促進に向けた表彰」項目です。現在も会員の皆様は、支部や委員会活動をはじめ、様々な形で建築士としての能力を活用して、社会に貢献する活動に取り組まれています。今後も地域社会に貢献することで、当会の存在価値が高まることを期待しています。

新たな表彰項目の対象者の選考は、正副会長会議で行うこととし、対象者への表彰式は、通常総会に併せて執りおこないたいと考えております。

一方、今回の改正に合わせ、既に実施されていない奈良県知事表彰や長期功労者表彰は、削除することになりました。

また、従来、「要項」としていたものを「規程」と改め、位置付けを明確にしております。

これらを内容とする表彰（推薦）規程の改正は、令和4年10月1日付で行い、同日施行としました。

会員の皆様におかれては、この改正の趣旨をご理解いただき、今後も日々の活動に積極的に取り組んでいただきたいと存じます。

□懲戒規程の制定について

建築士の資格を有する皆様は、その社会的責任と職責の重大性に鑑み、建築士法をはじめとする関係法令の遵守はもとより、社会において、高い品性とモラルを求められる立場にあります。

そのため、当会においては、「会員倫理規程」を定めるとともに、定款第15条（除名）において、会員の不正行為等には対処できることとしてきました。

一方で国や地方自治体においては、建築士法の規定に基づく懲戒処分¹の基準を定め、建築士の業務の適正を確保することとしています。

国や地方自治体の懲戒処分には、最も重いものから順番に「免許取消」「業務停止」「戒告」「文書注意」の段階があります。

当会の定款第15条の除名処分は、国や地方自治体から「免許取消」の行政処分を受けた者に適用するのが妥当と考えます。

しかし、それより軽い「業務停止」「戒告」「文書注意」の行政処分等を受けた者に対しては、現在の当会の定款では、処分等を行う規程がありません。

「業務停止」以下の処分等を受けた者に対しても、当会として相当の措置を執ることができるよう、今回、「懲戒規程」を制定することとしたものです。

こうした規程は、適用しないで済むことが最も望ましいことです。しかし、万一、そのような事態が発生した場合に備え、必要な規程を備えているということは、会員の規範意識の維持や再犯防止にも繋がるものと考えます。懲戒規程は、令和4年10月1日付で制定しました。施行は令和5年1月1日としています。

表彰規程や懲戒規程は、普段の皆様の活動に直接的な影響が及ぶものではありませんが、当会に所属される皆様の品位やモラルを守り、高めることに貢献するものと考えます。

当会は、70年に及ぶ長い歴史の中で、定款をはじめ、様々な規程により、会員の皆様に資する体制を整えて参りました。しかし、時代の変遷とともに必要な内容も変わるものと認識し、今後も時代に取り残されることのないよう、留意してまいります。

【記：事務局長 松岡慎司】

お知らせ

●奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会

(更新及び新規登録)

開催日：令和5年1月12日(木)

会 場：奈良県文化会館 小ホール

※詳細、申込については後日ご案内申し上げます。
※会場へはなるべく公共交通機関をご利用下さい。

●令和5年新年大交歓会のご案内(予定)

日 時：令和5年1月27日(金) 18:30～

場 所：ホテルリガーレ春日野(奈良市)

●入会

野田 涼月 様(桜井支部)

よろしくお願ひいたします。

●青年委員会が奨励賞を受賞！

昨年の第63回全国大会の青年セッション地域貢献活動発表会において、本県青年委員会が、奨励賞を受賞され、8月の理事会にて表彰式が行われました。



米村会長・南青年委員長

表彰が遅くなりましたが、改めておめでとうございます。



編集後記

令和元年の厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」によると、運動習慣のある人(1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している人)の割合は、男性が33.4%、女性が25.1%で、私の年代(40～49歳)に限れば実に18.5%しかないようです。

健康・運動に関心はありつつも、日々の生活に加えて「運動習慣」を取り入れることは中々難しく、毎朝の通勤が運動だと言い聞かせている方も、失礼ながらいらっしゃるのではないのでしょうか。また、ウイズコロナ時代となりつつあり、テレワークが定着されている方にとってはさらに運動の機会が少なくなっているでしょう。

かくいう私も40歳を超え、基礎代謝量がピークであ

った20代と同じ生活をしてはいけないと思い、新たに運動を取り入れたり食事の内容・量を見直す必要を感じつつも、毎日が昔よりもより早く過ぎ去っているところ。そんな中、幸いなことに我が家には、4歳の息子がおり、身の回りのお世話、週末の散歩など、不足しがちな運動を補って余りあるほどさせてもらっています。おかげさまで10年前の服も着られるほどです。そんな息子もありがたいことに日々成長をしてくれて、これからは段々と身の回りのことは自分でできるようになり、友達と過ごすようになるでしょう。手がかからなくなってありがたい反面、何か運動を始めなければと焦りを感じ始めています。

【記：山崎 修裕】

11月

16日(水) 監理技術者講習

26日(土) 近畿建築祭 京都大会



これまで長い間、当会の協賛店としてご協力いただきました啓林堂書店につきましては、その取り扱いを止めることとなりましたので、お知らせいたします【事務局】

12月

1日(木) 二級・木造建築士試験合格発表

21日(水) 監理技術者講習

26日(月) 一級建築士試験合格発表

28日(水) 事務局仕事納め

29日(木) 年末年始休業(～1月3日迄)



士 会 奈 良 通巻 646 号

令和4年11月1日(発行隔月1回1日発行)

発 行 所 一般社団法人 奈良県建築士会

〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館

電話：0742-30-3111 FAX：0742-33-4333

<https://nara-kenchikushikai.or.jp/>

info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 米 村 博 昭

編 集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会



情報・広報委員会

委 員 長 福田 成生

副委員長 伊藤 吉郎

委 員 紀 陽介

門脇 直也

永友 翔

上柿 範兼

小松原寛俊

押部 誠

小西 直樹

平田 正裕

溜谷 剛

松尾 憲治

山崎 修裕

洞 尚樹

1級建築士試験

全国
合格者占有率

No.1

※全国合格者数・全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。
※学科・製図ストレート合格者とは、令和3年度1級建築士学科試験に合格し、令和3年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。
※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含まれておりません。

総合資格学院は「日本一」の合格実績！

令和3年度 1級建築士 学科・設計製図試験

全国
ストレート
合格者占有率

59.2%

全国ストレート合格者1,342名中/当学院当年度受講生794名
(令和3年12月24日現在)

令和3年度 1級建築士 設計製図試験

全国
合格者占有率

52.7%

全国合格者3,765名中/当学院当年度受講生1,986名
(令和3年12月30日現在)



総合資格学院

学院長 岸 隆司



www.shikaku.co.jp
Twitter ⇒ @shikaku_sogo
LINE ⇒ 「総合資格学院」
Facebook ⇒ 「総合資格 他」で検索!

奈良校 近鉄大和寺駅北口から徒歩5分

TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺町
3-27 泉谷ビル 4F

開講講座

1級・2級 建築士/建築・土木・管工事・造園施工管理技士/設備・構造設計1級
建築士/建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

期間限定
無料でお届け!!
建築士受験生応援キャンペーン
プロ講師による講義 学習に役立つ教材

令和4年
6月上旬まで
お申し込みは
▼コチラ▼

